

ごあいさつ

「共感なくして、人は動かず」

2017年4月のかほく市議会議員選挙にて初当選をいただいてから、6年と10カ月。

平成から令和への移り変わりやコロナや災害を目の当たりにし、変革の時代と確信をいたしました。多くの市民のみなさまとふれあう中でも、激しく進む「多様化」を感じています。

人口が増加しているかほく市では、バリエーション豊かな自然と人材を生かしたまちづくりができると確信しています。多様であるがゆえ、多様な意見や答えがあると思います。

そのためには、相手を尊重し受け入れる力を育てる必要があると考えます。

課題に対して相手を尊重し、みなで解決する。そんなまちづくりが求められていると感じながら活動しております。



塚本佐和子 プロフィール

1970年 3月20日生まれ・金沢市森山出身

2001年 かほく市に移住。遠塚在住23年。

家族は長男(22歳)・次男(20歳)。

子育て間もなく終わります!

2017年 4月 かほく市初の女性議員として

初当選 2期目。防災士。

特技の料理に、塩糍使い歴10年。

発酵食続けてます

通学路見守り活動6年毎朝続けてます

実績

ペット避難所の整備(同行避難)、手話言語条例、七塚中央公園防犯カメラ設置、通学路グリーンベルト整備、高校生通学定期券助成、小児がん患者再予防接種全額助成、飼い主のいない猫避妊去勢手術費助成、産後ケア事業拡充、女性就農者グループ支援、ガバメントクラウドファンディング、パートナーシップ宣誓制度、消防署ドローン導入、学校での教育支援員拡充

つかもと佐和子 後援会事務所

後援会への入会をご希望の方は下記までご連絡ください。

住所 〒929-1173 かほく市遠塚口24-11

電話 076-285-2805 メール tsukamotosawako.office@gmail.com

公式LINEアカウントで活動報告・ご意見募集ぜひご登録ください!



つかもと 佐和子

完全無所属 しがらみがないです

動かそう、かほく。

やる気・スピード・実行力が違います!!

初登庁日

に

市民応援推進チーム立ち上げを宣言。
市民による事業提案制度の実現を進める。

就任初月

から

市長タウンミーティングを毎月行う。
第1回「災害対策(断水)」。第2回「子育て」。第3回「高齢者」。

6月議会

で

チャレンジする市政のため、
《協働のまちづくりチャレンジ事業の補正予算》を提出。

9月議会

で

かほく市行政の改革方針をつくり、
広報かほくとSNSを通じて市民の皆さんに示す。

おる人、だいじ。市民一人ひとりが 主人公のまちづくり

わくわくする
まちづくりを
一緒に
しませんか？

完全無所属を決断したのは、
清水の舞台から飛び降りる覚悟です。

私は特定の政党、団体、宗教などを向いた政治ではなく、市民の
皆さんお一人お一人を向いたまちづくりをします。

政党団体宗教からお金は一切いただきません。徹頭徹尾これを
貫き、市民のためのまちづくりを行います。

皆さん一人一人からの声を議会と職員に伝え、かほくをもっと
良くしていきます。



右に書かれた政策は、ほんの一部です。
皆さんの声を聞き、どんどん良くしていきますし、
どんどん数が増えていきます。私は実現のためにしっ
かりと仕事をします。
街で見たら声をおかけください。QRコードから
LINE にて声をください。宜しくお願い致します。

後援会討議資料

もっと、生き生きするかほくへ。現在の政策

- 月1回のタウンミーティングによるまちづくり
- 高齢者の免許返納時、替わりの公共交通の整備
- 断水しないさせない政策
(4月タウンミーティング開催・
災害に強く助け合う市民協働の災害対策)
- 防災にスフィア基準の導入、快適な避難所づくり
- 公共施設を使いやすく！
(Free Wi-Fi 整備、マルシェなどの実施、図書館にカフェなど)
- 市役所職員さんがもっと感謝され、働きやすくやる気が高まる
環境づくり (タウンミーティングをふまえた行政改革)
- 子育て世帯の働く場所の創出
- 交流人口の増加による市外からの人とお金の流入
(お風呂屋さんや宿泊施設の誘致や起業の促進)
- 協働のまちづくりチャレンジ事業の補正予算を提出
(民間活力を活かし、市民や企業からの事業提案によるにぎわい等の創出)
- ペット防災の強化
- 市役所にコンビニやイートインスペースを設置など障がい者雇用
- 一次産業の販売促進など人材マッチングでの支援、農福連携含め